

1人1台端末の活用による実践事例

(小・中学校)

学校名	津山市立喬松小学校	実践者名	國貞 智宏
教科等	社会	学年	第6学年
		Stage	Stage 3
育成したい資質・能力	目的に応じて情報収集をし、友達と共同編集をしながら役割を持って活動する。		
単元・内容等	「江戸幕府と政治の安定」 江戸幕府が力を強め、政治を安定させた仕組みについて調べる。 ① 将軍による支配の安定 ② 大名の取り締まりと参勤交代 ③ 人々のくらしと身分 ④ キリスト教の禁止と鎖国		
児童生徒の実態 (端末活用頻度等)	・歴史について興味関心が高く、関連読書を推奨している。 ・今までの歴史の授業は、教師が主導で行ってきた。しかし、知識の定着や意欲の面であまり結果が出なかった。戦国時代の学習から、自分たちの興味関心の高いものを選択し、グループでまとめ、他のグループへ発表というスタイルを導入し、学習意欲・知識の定着に向上が見られた。 ・端末活用については、算数の適応題、navima、国語のパンフレット作り(共同編集)、毎日の宿題配信(navima)等行っている。 ・Chromebookは、毎日使用している。		

活用の概要(使用アプリ名を含む) ※写真も掲載する

○使用アプリ: Google Classroom、Google ドキュメント、Google Chrome

○本単元の流れ

- (1) 単元を通してのめあてをつかむ
「江戸幕府が力を強め、政治を安定させた仕組みを調べる」
- (2) 自分の調べたいトピックを選び、Google Classroomのトピックごとのドキュメントのリンクへアクセスする。
- (3) 各グループで分担し、調べ学習を進める。(下記のポイントを示す) 2時間
 - 教科書の情報を基本とし、さらに調べたいことはChromeで調べる。
 - 図や写真を挿入する。
- (4) 班ごとに発表をする。
- (5) 教師の準備した() 抜きの資料で、再度定着を図る。1時間



実践者の手ごたえ

- ・以前の教師主導の授業では、歴史に興味関心のある児童は意欲的だったが、他の児童の意欲が今一つであった。しかし、このスタイルに変えてからは、「先生こんなこともあったんだ。」「こんなことも調べたら分かった。」など、どの児童も意欲的に取り組むことができるようになった。
- ・最後に() 抜きの資料で定着を図る際、児童の作った資料を活用しながら埋めていくことで、より意欲が高まった。スタイルを変えてからは、テストの平均点に向上が見られ、自学でさらに調べたり、積極的に歴史の本を読んだりする児童が増えた。

児童生徒の振り返りや反応等

- (生徒の感想から)
- 「江戸幕府は、政治を安定させるために参勤交代や武家諸法度などの仕組みを作ったことが分かった。」
 - 「身分によって厳しく差別された人々がいることを知って、かわいそうだなと思った。」
 - 「江戸幕府について自分で調べるとよく分かった。」